

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		2019 (R元) 年 7 月 18 日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒624-0906 京都府舞鶴市宇倉谷660		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日之出化学工業株式会社 代表取締役社長 秋元 久雄
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	K E S ス テ ッ プ 2	
適 用 範 囲	日之出化学工業株式会社 本社・舞鶴工場	
導 入 年 月 日	2 0 1 2 ( H 2 4 ) 年 8 月 1 日	
認 証 番 号	K E S 2 - 0 6 2 2	
基 本 方 針	日之出化学工業株式会社本社・舞鶴工場は、磷酸質肥料の製造およびフッ化マグネシウムの製造・販売に係る全ての活動、製品およびサービスの環境影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	(1) エネルギー原単位の向上 (2) 総合排水中の有害物の低減 (3) 産業廃棄物の削減 (4) 品質クレームの低減 (5) 改善提案活動の活性化	
目標を達成するための取組の内容	(1) エネルギー原単位の向上 -①特高変圧器高効率化更新による受電ロス低減 -②インバーターコンプレッサー増設による最適運転 -③加工部門における省エネ取り組み (2) 総合排水中の有害物の低減 -①フッ素イオンでの監視方法の確立 -②排ガス洗浄工程の管理強化 -③中和処理工程の管理強化 -④異常発生時の原因究明 (3) 産業廃棄物の削減 -①廃プラスチックの有価物化 -②油漏れ解消による廃油の削減 -③分別強化による有価物の回収 (4) 品質クレームの低減 -①根本的対策となる設備改善の計画 -②シートパレットの材質変更 -③保証成分の確保 (5) 改善提案活動の活性化 コストダウン、工程改善、安全対策、工場美化、環境負荷低減	
目標を達成するための取組の進捗状況	(1) -①計画通り、高効率率に更新済み。 (1) -②計画見送り。 (1) -③砂状ドライヤー温度設定を標準化。加工部門の取率、生産性も改善傾向。 (2) -①管理基準に基づき監視継続。 (2) -②排ガス洗浄ノズル閉塞に対し、迅速に対応した。 (2) -③管理基準に基づき監視継続。 (2) -④排ガス洗浄汚泥バキューム回収作業において、ホース固定不具合による汚水漏洩が発生し、Fイオン濃度・pHが異常値となった。対策として、業者へホース抜け防止処置を要請、実施確認に加え、事故発生場所にも漏洩防止処置を実施した。 (3) -①継続的に実施。 (3) -②機器油漏れ修繕実施。 (3) -③継続的に実施。 (4) -①砂状製品にて粉状品多量混入の品質クレームが発生し、原因究明と対策 (設備改善、手順見直し) を実施した。 (4) -②表面処理変更後の経過観察。特に問題なし。 (4) -③仕込み原料成分管理強化を継続的に実施。 (5) 前年度よりも提案件数は減少したが、提案者数は増加。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(1) 目標2017年度比2%向上に対し、実績3.3%悪化で目標未達。原因として、平炉主原料 (リン鉱石) の品位低下 (主成分低下、水分増、Igross増) による生産性悪化が大きい。 (2) 汚水漏洩事故を受け、再発防止対策を実施。 (3) 目標2017年度以下に対し、実績9.6%削減で目標達成。 (4) クレーム件数は目標2件以下/年に対し、実績1件で目標は達成。発生原因の究明と対策を実施した。 (5) 目標13件以上/月に対し、年間平均13件/月で目標達成。提案件数は前年度比減となったが、活動参加者数は増加。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	・公害関係の環境測定結果を3ヶ月ごとに舞鶴市へ報告。 ・2018年12月11日に平炉排ガス洗浄水汚泥のバキューム回収作業中、ホース接続不良による汚水漏洩事故が発生し、舞鶴市と京都府に報告。対策処置状況について京都府に報告した。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	(1) エネルギー原単位の向上については、基準年度を2017年度から2018年度に変更し、基準年度比2%向上を目標に設定。 (2) 総合排水中の有害物の低減については、目標未達につき昨年度目標に再チャレンジ。 (3) 産業廃棄物の削減については、基準年度を2017年度から2018年度に変更し、基準年度実績以下を目標に設定。 (4) 品質クレームの低減については、目標を1件以下/年とした上で、クレーム撲滅を目指す。 (5) 改善提案活動の活性化については、目標件数を引き続き13件以上/月とする。 以上、主要5項目について取り組む。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。